

育児休業に関する体験記

20 代 37 日間取得

① 家事 ・ 育児 について	1. 育児休業前に、夫婦で家事・育児の分担をどのように話し合い、行ったか 初めての子育てだったため、全ての事をまずは共に経験しようということになり、分担という決まり事は決めませんでした。 2. 育児休業後の家事・育児の参画の状況について お互いの体調等にあわせ協力しています。 （妻 記載欄）休業取得者の家事・育児の参画の状況について 夜間の授乳や寝かしつけ、家事を分担することで産後の身体を休ませることができた。
② 仕事 について	1. 休業取得前、仕事の引継ぎはどのように行ったか 引継ぎは特にありませんでした。 2. 評価・反省 特になし
③ 自由 記述 （400 字程度）	（取得者 記載欄） （例：育児休業取得の経緯、育休を終えての所感、周囲の反応） 今回、1 力月の育児休業を取得しました。実際に子どもと過ごす時間を持てたことで、日々の成長や変化を間近で感じることができ、貴重な経験となりました。しかし、育児や家事の大変さを実感すると同時に、妻の体調や生活リズムの安定を考えると、1 力月では十分とは言えませんでした。復職が近づくにつれ、もう少し家族と過ごす時間が必要だと感じる場面も多くありました。これからの時代、男性も積極的に育児に関わる事が求められます。そのためには、男性が 2 力月程度の育児休業を取得することが自然に受け入れられるような会社の雰囲気づくりが重要だと感じました。今回の経験を通して、家庭だけでなく職場においても、育児を共に支える意識を広げていくことが大切だと強く思いました。